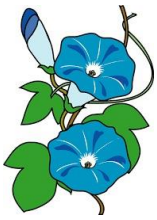
進路だより

令和５年７月 14 日
福井県立三国高等学校
進路支援部　第１号



夏休みに向けて

新年度が始まってから早くも４ヶ月近くが過ぎ、１学期が終了します。

３年生は、就職・進学と自分の目標とする進路実現に向けて、しっかりと計画を立て、体調管理に気を配りながらそれぞれの準備に励んでください。

１・２年生にとっては、自分の時間を確保しやすい夏休みです。理解が不十分な単元を重点的に復習し、基礎を固めましょう。また、自分の得意なことや何に興味関心があるかなどを把握し、今後の進路についてじっくり考えるようにしてください。

３年生　各種試験に向けての準備を早めに

就職志望者

７月１日に求人票が公開され、いよいよ就職活動が始まりました。高校最後の夏休み、本当なら思う存分楽しみたいところですが、８月末までの約１ヶ月半は、自分の人生を左右する大事な期間です。９月の入社試験開始に向けて、応募先企業の絞り込みを求人票の情報だけでなく、応募前職場見学に参加して自分の目で見て確かめながら進めましょう。

夏休みは、本格的な活動が始まります。まずは応募前会社見学です。どのような会社か、自分に合っているか、この会社に貢献できるかなど様々な視点で考えてください。

今後の予定

７月　中旬	求人票検索
	応募前会社見学開始
	面接練習・履歴書下書き
８月１０日(木)	就職希望者セミナー
下旬	三国ＲＣ模擬面接会
	応募書類提出〆切
９月１６日(土)	就職試験開始

進学志望者

総合型選抜は、各大学・学部が求める学生像（アドミッション・ポリシー）に沿って人物を評価して選抜する入試です。概ね書類選考を経て小論文や面接などが課されますが、各大学・学部の選抜方針によって、それらに加えてグループディスカッションや自己プレゼンテーション、模擬講義を受けてそれについてレポートを提出、さらには出願前のエントリーシート提出や面談など、さまざまな選考方法や課題が設けられています。その大学に入学することへの意欲（入学して何をやりたいか）が問われる入試ともいえます。

また学校推薦型選抜とは、在学する高校の校長先生の推薦を受けて出願する選抜方式のことです。ほとんどの大学では、出願条件として、高校３年間に履修した全科目の評定平均が一定以上であることを求めています。「学習成績の状況」や「学習成績概評」をクリアして出願したのちは、小論文や面接で選考が行われ、合否が決まるのが一般的です。国公立大学の学校推薦型選抜はおもに公募制で、指定校制は一部の公立大学を除き行われていません。ひとつの高校からの推薦人数は制限されることがあり、その場合は、校内選考をパスしてからの出願となります。

総合・学校推薦型選抜では、志望動機や自己ＰＲおよび面接が重要です。これから三者面談を経て、総合型のエントリーや学校推薦型の申込を開始していくことになりますが、志望動機や小論文の添削や面接練習には、多くの時間を必要とします。今後の予定に記しましたが、指導を受ける担当の先生が決まったら、先生方の予定を確認して事前に依頼をしてください。

今後の予定

７月２０日(木)	総合・学校推薦型選抜(国公立大)校内選考面接
８月１８日(金)	指定校制推薦(私立大)情報公開
９月　上旬	総合・学校推薦型選抜(共通テストあり国公立大)
	および指定校制推薦校内面接
	総合・学校推薦型選抜　指導開始

一般選抜の日程まで、残り半年を切りました。まずは１１月までの長期的な学習プランを立てたうえで、この夏をどう位置づけるかを考えましょう。夏休みは、①期間が長い、②自由に時間を使える、③人によって環境が異なる、などの理由から「差がつきやすく」、「受験の天王山」とも呼ばれます。「何を」、「いつまでに」、「どうやって」、「どこまで」マスターするか、週単位の具体的な学習計画にしていきましょう。その際、特定教科に偏ることなくバランスをとることも大切です。

２年生　オープンキャンパスに参加しよう

オープンキャンパスとは、大学や短期大学、専門学校が入学希望者に向けて学校を紹介するための「入学促進イベント」です。学校によっては、「オープンキャンパス」という言い方ではなく、「体験入学」や「オープンスクール」と称して開催するところもあります。オープンキャンパスに参加すると、学長や学部長の話を聞くことができ、体験授業への参加や、教室・研究室・部室など学校設備の見学、サークルや部活動の紹介、就職実績、学校で取得できる資格などがわかるので、校風や実際に通っている学生たちの雰囲気を知ることができ、学校案内パンフレットだけではわからない情報を得られます。いろいろな情報を得て、各学校の魅力を把握しましょう。

１年生　文理選択について考えよう

高校で文系理系のどちらを選ぶかは、大学で学ぶ分野や受験する学部と関わってきます。学部は文系・理系・文理融合系に分けられ、文系学部への進学を希望する場合は文系、理系学部への進学を希望する場合は理系を選択するのが基本。文理融合系の学部は、どちらを選んでいても受験できることがほとんどです。今後学んでいく分野を決めることは、大学進学のみならずその後の人生にも影響するという意味で、大変重要です。目先の受験だけにとらわれるのではなく、「どんなことに興味があるのか」「大学で何を学びたいのか」「将来どんな仕事に就きたいのか」など、自分の興味関心や将来の夢などについて、じっくりと考え、なおかつ周囲の人にも相談しつつ、じっくり検討するようにしましょう。